



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教110~120周年
標語

共に生きる
いのちの天幕を
広げよう

1963年9月20日 第3種郵便物許可 (毎月一日発行)

2019年4月1日(月) 第783号

発行所 福音新聞社 (1部100円)
〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398 info@kccj.jp
発行人/金鐘賢・編集人/金柄鎬

印刷所 青丘文化社

復活節
説教

復活の初証人

<マルコ16:1-11>



梁栄友 牧師 (武庫川教会)

2019年度の復活節を迎えました。今日は聖書に登場する一人の人物を通して、復活の証人の信仰がどのようなものであるかを悟り、そしてこれからのわたしたちも復活の証人の信仰を持って、イエスを信じるという決断をする復活節にいたしましょう。

マルコによる福音書16章は十字架にかかり、死んで葬られたイエスが復活した事実を伝えています。あの十字架の前で途方に暮れた弟子たちだけでなく、12弟子たち以外の復活を体験した弟子たちこそが証人として、必要とされていたのです。四つの福音書の中には神の子イエス・キリストの復活を信じられなかった人もいます。復活されたイエス・キリストが自分たちの目の前に現われても信じなかった人や、復活のイエスに出会った証言も信じようとしなかったことが書かれています。そのような中で復活されたと言う事実を信じ、あの五旬節の聖霊の働きによって、主イエスの弟子たちは以前とはまったく変わった人に生まれ変わりました。そうして主の証し人となり、それによって教会が誕生したことを記しています。

イギリスの著名な説教者であるチャールズ・ハットン・スポルジョン牧師はある日、鳥籠の中にいる鳥をいじめている少年を見つけました。牧師が「君は、その鳥をどうするつもりなのか？」と尋ねるとその少年は、しばらく虐めたあとに殺しますと答えたのです。その話を聞いた、スポルジョン牧師はその少年から2ポンドで鳥を買って、自由に飛んで行くよう空に離したのです。二日後、復活節の説教でスポルジョン牧師は説教の中で「悪魔は人間をいじめた後に殺そうとします、しかし、神様は独り子を与えるほどに世を愛され、人間に自由を与えられました。その出来事が「主イエスの十字架であり、復活の歴史」であると語られました。

今の教会は、直面している神学的な課題や諸問題がたくさんあるにも関わらず、霊的な成長よりむしろ量的成長ばかり求めているのではないのでしょうか？

さて、本文に登場するマグダラのマリアは、一番初めに復活の主イエスに出会う祝福を経験した人です。また、マグダラのマリアは主イエスの復活を他の弟子たちにも伝える初証人となる光栄を受けた人でもあります。ここで一つの疑問があります。なぜ、主イエスは復活の後に、弟子のペトロや12

弟子たちの前に先に現われず、七つの悪霊から癒されたマグダラのマリアの前に現われたのかと言うことです。マリアはどういう理由でこのような祝福をいただくことになったのでしょうか？ 与えられた聖書箇所を通してマグダラのマリアの信仰について学びましょう。

1. 救いの恵みを悟ったマグダラのマリア

まず、ルカによる福音書8:1-2節をご覧ください。「すぐその後、イエスは神の国を宣べ伝え、その福音を告げ知らせながら、町や村を巡って旅を続けられた。十二人も一緒だった。悪霊を追い出して病気をいやしていただいた何人かの婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラの女と呼ばれるマリア、主イエスはガリラヤ地方から町や村を巡って旅を続けられて、福音を告げ知らせる時に悪霊に苦しんでいるマグダラのマリアに出会い、その悪霊を追い出して病気を癒されたのです。マリアは救いの恵みを受けて、悪霊が追い出され病が癒され、悪魔から開放されました。復活の主イエスに出会った瞬間、全ては解決されました。人生の真の平安と喜びを受けました。

2. 最後まで絶えず主に従ったマグダラのマリア

マグダラのマリアは救いの恵みに感動し、また感謝して主に従い、主に仕えました。

私たちも救いの恵みを経験し、感謝する心があるならば、主イエスにより頼み、主イエスに従って行く生き方するようになります。マグダラのマリアはどんなに厳しい状況や危険があっても最後まで従いました。

3. マグダラのマリアは復活の初証人の祝福を受けた。

マルコによる福音書16:9-10節をご覧ください。「イエスは週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された。このマリアは、以前イエスに七つの悪霊を追い出していただいた婦人である。マリアは、イエスと一緒にいた人々が泣き悲しんでいるところへ行って、このことを知らせた。」さあこのように、2019年度の復活節は、宗教的、習慣的な復活節ではなく、マグダラのマリアのように主に出会い、救いの恵みを悟り、主イエスから離れず仕える信仰者、復活の証人として生きる信仰者になっていこうではありませんか！

公告《総会奨学生 募集案内》

総会神学生として各地方会にて認定され、1年を経過した者が申請できます。書類は総会事務局にお問い合わせください。

- 募集人員：3名
- 支給金額：年額 200,000円 / 1人

- 支給期間：1年間 (受給者は、継続して新たな申請必要)
- 必要書類：①奨学金申請書 ②在学証明書 ③成績証明書 ④履歴書 ⑤堂会長推薦書 ⑥総会神学生認定書 (各地方会試取部) ⑦各地方会長承認書
- 書類提出先：総会事務局
- 締め切り：2019年4月30日必着

西部
地方
会

第35回韓日交流信徒大会

日本基督教団兵庫教区と共催で

2019年1月14日(成人の日)に、日本基督教団神戸栄光教会において、主題「主は一つ、信仰は一つ」、副題「救いは恵みによるのです」(エフェソ2:5)として第35回日韓交流信徒



大会が開催された。

開会礼拝は、尹聖哲大会委員長(神戸教会)の司会で、韓国語と日本語による聖書朗読、合同聖歌隊によるハレルヤコーラス、「わたしの隣人とはだれですか」(ルカ10:25~37)と題する榮徹伝道師(神戸栄光教会)の説教があり、共に聖餐式にあずかった後、新成人の祝福式が執り行われ、3名の青年が皆の前で喜びの内に祝福を受けた。

礼拝後は参加者全員が9分団に分かれて、昼食をとりながら意見交換と交わりをし、祈りの時を持った。午後はポッペラ・シンガー金秀眞による賛美と証しがあり、魂の癒しと恵みに溢れる時間を過ごした。

開会礼拝での席上献金は熊本教会(KCCJ)および熊本大地震・西日本豪雨・北海道地震被災者(UCCJ)への救済献金として捧げられ、森章一兵庫教区在日大韓基督教会宣教協力委員長の祈りで大会を終えた。今回の大会では、兵庫教区が27教会83名、西部地方会が6教会53名、合計136名の参加があった。

朝鮮半島をめぐる複雑な情勢の中、これからも私たちKCCJ西部地方会と日本基督教団兵庫教区は霊と信仰の交わりを継続して行きたいと願ってやまない。
(報告者:尹聖哲長老)

岡山
教会

創立50周年記念礼拝挙行

第3代担任牧師金性濟牧師を招き

2019年2月3日(主)午前11時、岡山教会(西部地方会)にて主の導きと恵みにより創立50周年記念礼拝が執り行なわれた。礼拝は、岡山教会金承熙牧師の司会で始められ、第3代岡山教会牧会者である金性濟牧師(日本キリスト教協議会総幹事)が、マタイによる福音書20章1~16節の御言葉から「輝く一時間として」という題目により説教した。

福音の種が蒔かれた岡山教会の前史から初代担任牧師である金徳化牧師、そして現在7代までの牧師が主の導きによって仕えてきたが、それは主の深い憐れみとご計画によるものである。金性濟牧師は説教において、50周年というのは旧約聖書において語られる「嬉年」であり「解放による喜びの年」であること、そして岡山教会にとっても特別な意味を持っていることを語る

と同時に、第3代担任牧師にいたるまでの経緯や、その個人史を含めた前後の歴史を通して神様のご計画と摂理を語った。

礼拝後、信徒一同、金性濟牧師と共に愛餐会を通して50周年の感謝と喜びを分かち合った。主の臨在が共にあり、意義深く恵み深い日であった。
(報告:金承熙牧師)



3.1独立運動100周年韓国探訪

日本キリスト教会と合同で

2019年2月25日(月)~28日(木)、3.1独立運動100周年を記念し、在日大韓基督教会と日本キリスト教会の「宣教協力委員会」企画の韓国探訪が行われた。在日大韓基督教会からは6名、日本キリスト教会からは11名が参加した。

初日は、大韓イエス教長老会総会本部において李致萬教授による「3.1運動と韓国キリスト教」という講演があった。二日目は景福宮、西大門刑務所跡地を見学後、水原堤岩里教会を訪問した。三日目はタブコル/パゴダ公園、仁寺洞を探訪後、日本大使館前の水曜デモに参加した。水曜デモの最後に自由発言の時間があり、日本キリスト教会から参加された比嘉美恵子さん(沖縄伝道所)が壇に上がり発言された。午後からは永登浦産業宣教会館に行き、産業宣教会の歴史や働きなどを聞いた。そして夜は3ヶ所の教会に分かれて水曜礼拝に参席した。水曜礼拝では日本キリスト教会から参加された、久野真一郎牧師、藤守義光長老、大石周平牧師が説教された。

参加者の感想。学校では習わない、初めて知った事実が多く驚いたという青年。独立運動に関わった多くのキリスト者がいたことを知った。日本人がどれほど韓国の人を踏みにじったのか、負わせた傷の深さははかり知れない。探訪を通して知っ

た以上、この事実を知らせなければいけない。ハードスケジュールではあったが有意義な探訪であった。

そして、痛みを伴う歴史のなかでも、探訪中に訪問した多くの教会では温かく私たちを受け入れ歓迎してくださり、多くのもてなしを受けた。水曜礼拝で国籍を超えて主のなかで家族となった私たちが共に祈ること、祈れることに感謝であった。
(報告:石橋真理恵)



神学生・宣教師研修会を開催 宣教師と神学生3名が研修会参加

宣教協約を結んでいる韓国の各教団から派遣されて本総会に加入し、任地へ赴くことになる宣教師と総会伝道師考試準備教育のための研修会が、3月10日、主日の夕方から16日(土)まで在日総会神学校に於いて3名が参加して合宿で行われた。教育科目としては、在日大韓基督教会の神学と宣教理念、歴史、憲法と規則、在日同胞や在日大韓基督教会の歴史、日

本のキリスト教会の神学、教会史、エキュメニカル神学、在日大韓基督教会における牧会、儀式と礼典などに加え、総会事務局を訪問して年金や総会行政などの説明も受けたほか、日本基督教団、在日本韓国YMCA、日本基督教会協議会(NCCJ)、RAIK、マイノリティ宣教センターなども訪問した。



今回の研修会に参加した宣教師は、尹鐘憲牧師(合同、明石教会)、具滋佑牧師(高神、東京希望キリスト教会)、李成俊神学生(横浜教会)である。

プログラム中、関東地方会所属の教会をいくつか訪問し、温かい歓迎と食事のもてなしを受けながら各教会の歴史や状況、宣教的課題などを聞き取りのある交流の時を持った。

中部地方会

信徒共同研修会開催 韓国から柳皓浚牧師を迎えて

3月21日(木)～22日(金)、「福音の生活」という主題のもと、柳皓浚牧師(韓国坪村ムジゲ長老教会牧師)を講師に迎え、あいち健康プラザにて中部地方会・中部地方教会女性連合会の信徒共同研修会を開催し、50名が参加した。

開会礼拝は地方会長の崔和植牧師による「御言葉を頂く準備をなさい」という題にて説教が取り次がれた。講師の柳皓浚牧師は、福音の生活という主題をもって、十字架を高く持って・これが福音である・あなたの口座へ、という3回の講演を行った。今までの信仰生活を顧み、これからの信徒の使命について深く考えさせられる、恵み深いひと時が持たされた。



2019中部地方会合同信徒研修会
主題「福音の生活」
講師 柳皓浚牧師
日時:2019年3月21(木)22(金)
場所:あいち健康プラザ(大府市)

山形ウリ教会

建築負債をすべて返済 韓国富川第一監理教会が支援

関東地方会山形ウリ教会は、主の恵みによって今年1月に教会堂と牧師館の建築負債返済を完了した。

山形ウリ教会は総会とあすか信用組合からの借入金返済に励んできたが、東日本大震災で返済が困難になっていたところ、韓国の富川第一監理教会(이민재牧師)からの支援により、1千万円程度の残金全額を返済することになった。

この恵みにより山形ウリ教会は、以前にも増して活発に地域宣教できることになった。

(報告:李明信牧師)



特別寄稿 3・1運動の現場を訪ねて 大石周平(日本キリスト教会府中中河原教会牧師)

2月25日(月)から28日(木)に行われた「3・1独立運動ゆかりの地をめぐる韓国ツアー」に参加し、100年を経た歴史の現場を訪ねました。貴教会(KCCJ)と日本キリスト教会(CCJ)の20年来的宣教協力関係に新たな展開を見たという意味でも大切な旅でした。金柄鎬総幹事をはじめ、皆様の手引きに心からの感謝を申し上げます。

KCCJ 6名、CCJ11名からなる一行は25日、大韓イエス教長老会総会本部で李致萬教授(長老会神学大学)の講演を聞きました。教授は「3・1独立運動」でなく「3・1運動」と呼び、その宣言の民主革命的な特長を指摘されました。その正義、人道、生存、自由の概念にキリスト者の影響が大きかったと知り、民族独立の機運が世界で高まる第一次大戦直後だけでなく、今(日本側の謝罪の意思を明確にしつつも)民族的枠組みをこえ、「泣く人と共に泣く」いてこれを記念する意味(ローマ12:15)があると思いました。

26日に訪れた現場では、さらに深く、言葉にならない呻きが腹の底から、いや足下から湧き上がるようでした。西大門刑務所の処刑場に向かう人々のすがた「慟哭のポプラ」の前で、また、日本憲兵が銃剣を構え火を放ち人々を虐殺した堤岩教会の跡地で、私たちは絶句しました。

辛い沈黙の中では、死者や遺族の声ならぬ声を聞き、心に刻む他ありません。韓国中で100周年の大記念行事が備えられた折でしたが、本ツアーではむしろ、記念事業の舞台からでな

く地の底から、つまり「(兄弟の)血を、口を開けて呑み込んだ土」(創世記4:11)から響く声に耳を傾けました。

3・1宣言では、非暴力による民主的共同体建設と共に東洋平和の希望も語られています。宣言に「良心は我と共存し、真理は我と併進する」とありますが、この言葉は、私たちを迎えてくださった韓国諸教会とKCCJの皆様が示してくださったような、交わりと共生の現場に実現すると体験的に知りました。痛みと弱さに寄り添い、敵をも迎える共生の現場では、罪を自覚し絶句する者にも、平和と和解を語る大胆な勇気が与えられます。27日、日本大使館前の集会で、沖縄からの参加者が日本軍「慰安婦」に寄り添う方々との連帯を表明し、現地3教会では、「3・1記念礼拝」の説教者に私たち日本人が立てられました。「敵意(ヘイト)という隔ての壁を取り壊す」キリストの平和(エフェソ2:14)にすぎり、罪の告白と和解の道を歩ませてください、アーメン!主の御名によってこう祈りえたことが、何より幸せでした。



全国女性会

第20回聖書セミナー開催 中部と共催で「主の栄光を表す教会」

全国教会女性連合会・中部地方教会女性連合会の共催による、第20回聖書セミナーが、2019年3月7日(木)～8日(金)に名古屋教会・岐阜教会にて開催された。主題は、「主の栄光を表す教会」、副題を「地域と共に歩む在日大韓基督教会」とし、講師に高誠牧師(岐阜教会)を迎えた。開会礼拝では、金明均牧師(名古屋教会)から「豊かな教会」という題でメッセージがなされた。講義の後、李炫知会長の司会により、活動報告(全国女性会・各地方女性会)があり、夕食後の親睦会は、金英子副会長の司会により、楽しい交わりの時間を持った。

2日目は、岐阜教会に移動し、讃美と祈りの時間を持ち、各地方会の祈りの課題に基づいて共に祈った。参加者全員が心をひとつにして祈り、恵みあふれる時間であった。その後、高誠牧師より教会建築報告、岐阜教会女性会より二名の証があった。閉会礼拝は、石橋真理恵総務から「主の名がとどまる所」とい

うメッセージがなされた。閉会礼拝での献金(36万円)は建築献金として岐阜教会に献げられた。昼食は岐阜教会女性会より心あたたまる歓迎を受けた。

今年も多く参加者(68名)が一同に集まり、全てのことを導いてくださった神様に感謝し、聖書セミナーを終えた。

(報告: 兪貞恵)



西南KCC

3・1独立運動100周年記念集会 澤正幸牧師(日キ福岡城南教会)講師に

3月3日(主)西南KCCに於いて3・1独立運動100周年記念集会を行った。

澤正幸牧師(日本キリスト教会福岡城南)を講師として迎え、連帯・平和の実現を妨げている問題と、キリスト教会こそがその壁を越える役割を担っていることを分ち合った。そして黙想の時間を持ち、独立宣言文(口語)を朗読した。

また分かち合いの時間では、参加者それぞれの思いや、違いなどの痛みを表現し合い、予定時間を5分超過する程の交わりがあった。課題を心に留めた集会だった。

(報告: 西南KCC)



5地方会の定期総会案内

<関東地方会 第70回 定期総会>

- ・日時: 2019年4月29日(月) 10:30
- ・場所: 在日本韓国YMCA、地下1階 Yスペース
東京都千代田区猿樂町2-5-5、TEL03-3233-0611

<中部地方会 第56回 定期総会>

- ・日時: 2019年5月2日(木) 11:00
- ・場所: 浜松教会
静岡県浜松市中区西浅田2-2-1、TEL053-458-1194

<関西地方会 第70回 定期総会>

- ・日時: 2019年5月6日(月) 10:00
- ・場所: 大阪西成教会
大阪市西成区梅南2-4-29、TEL06-6658-4203

<西部地方会 第35回 定期総会>

- ・日時: 2019年4月29日(月) 10:30
- ・場所: 川西教会
兵庫県川西市絹延町2-23、TEL072-759-2752

<西南地方会 第69回 定期総会>

- ・日時: 2019年4月29日(月) 11:00
- ・場所: 博多教会
福岡市博多区西月隅3-11-50、TEL092-414-8133



創立70年が過ぎ、神の導きで新たな出会い

金 鍾 権 牧 師

平野教会は、在日同胞が中心となっている教会です。平野という地域は、大雨が降るとたびたび平野川が氾濫、洪水をひき起こしていたため、大正年間には曲がりくねる平野川を直線化する工事が行われました。その過程で工事に従事した当時の慶尚道と済州道からの同胞が徴用され、そのまま定住したため、平野地域には在日同胞が多く住んでいます。1947年、大阪府八尾市竜華町竹淵334番地で、木造6坪借家で平野伝道所開所、1952年 第1代丁仁寿牧師委任式が行われ、1955年 平野教会礼拝堂献堂式、「在日大韓基督平野教会」の宗教法人認可、現在は、第5代目となる金鍾権牧師が担任牧師として主の体なる教会に仕えています。

今、平野教会は、約40人前後の信徒が礼拝を捧げており、その中の3分の1の信徒がベトナムから来日した青年であります。今から3年前、神様の特別な導きによって一人のベトナム青年が平野教会に導かれ、今はベトナム青年だけの礼拝を捧げるところまでになっています。その中で何人かの青年は、平野教会が用意したスタッフハウス(教会近くのマンション2室を賃貸、無料提供)を利用していますが、その代わり

に、自主的な教会奉仕を呼び掛けています。新来者聖書勉強、一対一形式の聖書勉強を経て、小グループリーダー聖書勉強に積極的に取り組んでいる彼らを神の御国のために、主が特別に用いてくださるよう、祈ります。

これからも働き人の育成のために、聖書の教えに基づいた養育と訓練・実践を通して、神様に喜ばれる教会、教会を助けられる教会を目指して努めたいと思います。励ましとお祈りをお願い致します。



ベトナム青年たちの集い